

かんなめさい
❀「新嘗祭」❀

「新嘗祭」は「しんじょうさい」ともいい、天皇がその年にとれた新穀を神様に供え、農作物の収穫に感謝するとともに、自らも新穀を今年初めて口にします。神宮では、「大御饗の儀」「奉幣の儀」が行われ、7別宮以下諸宮社でもお祭りが行われる。

天皇は皇居内の神嘉殿で「新嘗祭」を行います。

❀奉幣の儀の参進❀



「奉幣」はこの木の箱「唐櫃」におさめられています。

新嘗祭の起源は古く、「古事記」にも天照大御神が新嘗祭を行ったことが記されているそうです。

かんなめさい にいなめさい
♪「神嘗祭」と「新嘗祭」♪

新嘗祭（にいなめさい）によく似た名前のお祭りに、「神嘗祭」（かんなめさい）があります。神嘗祭は「神宮の最重儀」とされており、10月15～16日（外宮）、16～17日（内宮）に、その年に収穫された穀物や酒などを天照大神に供えます。

神嘗祭は「神様に供える」のに対して、新嘗祭は「神様にお供えし、自らも食す」ということになります。

天皇自ら、18時からの「夕の儀」と23時からの「暁の儀」とそれぞれ2時間ずつ行われます。

初穂粍があるのでゴチいりますよ〜



☆こんにちは 高須新聞店で

いつもご愛読ありがとうございます

神嘗祭・新嘗祭・・・聞いたことはあるけどなにが違うの？というご質問をいただきました。新嘗祭は「勤労感謝の日」の由来になっているんですね。

「新嘗祭」は、昭和23年に「勤労を尊び、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう日」ということで「勤労感謝の日」になりました。農業の農作物の収穫を祝うだけでなく、広い意味でのさまざまな労働、勤労に対して、感謝する日にしたいですね。

勤労・労働・収穫・・・そして食物に感謝。

(*・*)「高須新聞店スタッフブログ」もよろしく

【五穀】…穀物のこと。一般的には、米・麦・粟・豆・きび又はひえ。

【豊穡】…たくさん実ること。穀物がたくさん実ること、となります。

すーちゃんおしえて☆キーワード!!

- 勅使: 天皇が差し遣わす使者のこと。
- 奉幣: 天皇が絹などの織物を奉納する儀式のこと。
- 御饗: 神様へのお食事をおこなうこと。大切なおまつりの時は、たくさんの品目がおこなわれます。

前号で紹介した4種のお酒も、おしえてあげます。

❀次号は12月28日(日)発行予定。おたのしみに

【参考文献】『お伊勢まいり』伊勢神宮崇敬会、1997年 『お伊勢さん125社めぐり』伊勢文化会、2008年 『美しい！伊勢神宮』竹本朝之、2013年 『神宮舞楽解説』神宮司殿 『改訂版決定お伊勢さん公式テキストブック』伊勢商工会議所 伊勢文化会、2010年

たーくんの「いせ豆知識」
「勤労感謝の日の由来って？」

番外編

今日は勤労感謝の日、祝日だ〜♪

今日は「新嘗祭」の日なのよ〜!

勤労を尊び、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう日

11月23日!

「新嘗祭」は、その年に収穫された新しい穀物を食すること。新嘗祭は、天皇がその年に収穫された五穀の新穀を神様に供え、自らも食す儀式なので、一年間の「収穫感謝祭」ね。

「新嘗祭」なの？

そうなのよ、勤労感謝の日の由来は飛鳥時代から現在も続く「新嘗祭」なの。

「新嘗祭」なの？

「新嘗祭」は、その年に収穫された新しい穀物を食すること。

「新嘗祭」は、天皇がその年に収穫された五穀の新穀を神様に供え、自らも食す儀式なので、一年間の「収穫感謝祭」ね。

「勤労感謝の日」は、農業の農作物の収穫を祝うだけでなく、勤労に感謝する日なんだね。

「五穀豊穡の感謝の祭り」は、十一月二十三日に全国の神社でも行われるのよ。

神宮では天皇の勅使から奉幣をたまわり、「新嘗祭」が行われるの。

「五穀豊穡の感謝の祭り」は、十一月二十三日に全国の神社でも行われるのよ。

高須新聞店通信 お伊勢さんを知ろう企画
いせまめ通信

発行: 中日新聞
伊勢市南部店
高須新聞店①
高須新聞店
ホームページ
QRコード
〒516-0014
伊勢市橋部町乙422-1
☎0596-24-1720
Fax0596-24-1728
毎月25日頃発行
第29号
平成26年11月23日

【参考URL】 伊勢神宮崇敬会 <http://www.jingukaikan.jp/index.html> 伊勢神宮 <http://www.isejingu.or.jp/> ウィキペディアフリー百科事典 <http://ja.wikipedia.org/wiki/> 伊勢市観光協会公式HP <http://www.ise-kanko.jp/> 伊勢人NET <http://www.isebito.com/>